



令和5年3月27日

瑞浪市長 水野 光二 様

瑞浪市男女共同参画社会推進会議  
座長 渋谷 典子

## 『第3次みずなみ男女共同参画プラン』策定に向けての提言書

瑞浪市男女共同参画社会推進会議では、『男女共同参画に関する市民意識調査』の結果をふまえ、以下のとおり意見交換を行いました。つきましては、『第3次みずなみ男女共同参画プラン』の策定にあたり、各項目について検討して頂くよう提言します。

### 瑞浪市の男女共同参画を進めるために

#### ①男女共同参画社会に向けた意識改革

「男女が平等でない」と回答している人が男女共に多く、特に「社会通念・慣習・しきたり」および「政治の場」といった項目において顕著です。男女共同参画に関する認識を深め、それを定着させるためには、さらなる男女双方の意識改革が重要です。根強く残る固定的性別役割分担意識の解消を目指し、地域全体での取組みを推進することが必要です。あわせて、自治会やまちづくり、行政関連の委員会・協議会等への女性の参画・登用のさらなる拡大を期待します。

#### ②『男女平等』意識を育くむ教育と、その課題に気づくための啓発

若年層ほど『男女平等』意識が高く、年齢が高くなるほど『男女平等』意識が低い傾向にあります。また、性的マイノリティに関わる人権の理解や防災に関する女性の視点の必要性など、男女共同参画をとりまく新たな課題への対応も求められています。子どもころからの男女共同参画の理解を促す教育の継続と、幅広い世代が男女共同参画の課題に気づくことができる啓発が重要です。

#### ③働く場での男女共同参画の視点をもった支援の充実

「結婚・出産にかかわらず、ずっと職業を持ち続ける方がよい」と考える人の割合が増加しているにもかかわらず、育児・介護等により就業を中断する女性が多く、さらに「男性の方が育児休暇や介護休暇をとりにくい」という課題があります。そうした現状を踏まえ、事業所に対し、男女間の格差解消についての働きかけや、男女ともに育児休業等が取りやすい環境整備など、男女共同参画の視点を踏まえた職場環境の実現に向けた啓発が重要です。

瑞浪市男女共同参画推進会議は、お互いを尊重し、多様な生き方ができる男女共同参画社会の実現を期待しています。